

北海道大学産学・地域協働推進機構連携事業

北海道大学特別出前教室

当金庫と北海道大学産学・地域協働推進機構との連携事業の一環として、地域の人材育成を目的に高校生を対象とした「北海道大学特別出前教室」を開催しています。

第12回目となる今回は、釧路湖陵高校2年生約240人を対象に「失敗からの発想転換～触媒による野菜の鮮度保持とバイオマス変換～」をテーマとして北海道大学触媒化学研究所 福岡 淳 教授を講師にお迎えしました。青果の成熟を促進する植物ホルモン・エチレングスを分解し野菜の鮮度保持、フードロス削減に繋げる“プラチナ触媒”の研究と、バイオマス由来の化学物質の生成についての講義を行った後、10人ごとのグループに分かれ、触媒として化学工業に用いられる「ゼオライト」の分子模型を組み立てるワークショップを実施。昨今では大手メーカーの冷蔵庫やコンビニチェーンの野菜貯蔵庫に導入され活用が進むプラチナ触媒について、論文発表し脚光を浴びるようになるまでの道のりを、失敗談も交え丁寧にお話しいただき、生徒たちの関心を惹いていました。福岡先生からは、失敗は当たり前だと思って諦めないこと、また、新しいことを発見する着眼力や豊かな創造力が成果を出すうえで重要であることを伝えていただきました。

- 講演者 北海道大学 触媒化学研究所 教授 福岡 淳 氏
- テーマ 「失敗からの発想転換 ～触媒による野菜の鮮度保持とバイオマス変換～」
- 日 時 令和5年2月21日（火） 13：20～15：10
- 対 象 2学年 6クラス（理数科1クラス、普通科5クラス） 240名
- 場 所 釧路湖陵高校 体育館
- 共 催 北海道大学産学・地域協働推進機構 大地みらい信用金庫 一般財団法人 大地みらい基金

